



山本加壽子さん 100歳おめでとうございます



山本加壽子さんが、満百歳を迎えられました。

6月2日(水)、山本加壽子さん(中土居)が百歳のお誕生日を迎えられました。

同日に、特別養護老人ホームみまさか園(美作市)で百寿記念式典が行われ、岡山県美作県民局健康福祉部健康福祉課長より表彰と記念品の贈呈があり、続いて西粟倉村からも道上村長と青木議長がそれぞれ村と議会からのお祝いの品を贈呈しました。

山本さんは、お祝いの品を頂くごとにお礼の言葉を述べられ、その後、山本さんの人生を振り返る写真がビデオ上映されました。式典後は、ご家族の皆さんと一緒に昼食を楽しみました。



☆山本加壽子さんのプロフィール☆

生年月日：明治43年6月2日

略歴：鳥取県の高校を卒業後、昭和4年に結婚。愛育委員の会長として長年勤め、料理・和裁が大得意。スポーツも愛好され、ゲートボール2級の審判資格を有するなど活発に活動をされていました。現在は、特別養護老人ホームみまさか園に入所。

子孫：子6人、孫19人、曾孫14人



☆100歳のお祝いについて☆

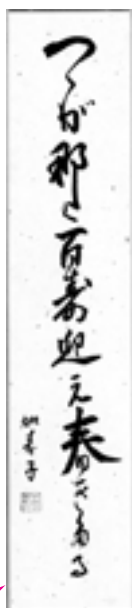
100歳で行われるお祝いは、呼び名が様々です。文字通り『百寿』と書いて『ひゃくじゅ』『ももじゅ』と呼んだり、『上寿(じょうじゅ)』と呼ばれたりもしています。昔、人の寿命の長さを表すものとして、100歳を上寿、80歳を中寿、60歳を下寿と呼んでいたそうです。

また、100年は一世紀であることから『紀寿(きじゅう)』、その他『御百寿』『御紀寿』などの呼び方があるそうです。

『百賀の祝』と呼ばれることもあり、101歳では『百一賀の祝い』と、100歳を過ぎてからは1年ごとにお祝いをする事が多いようです。



100歳を迎えられるにあたり、山本加壽子さんが自筆で書かれた俳句です。



家族みんなで100歳のお祝いをしました。その時に曾孫さん達に囲まれて記念写真を撮りました。これからも元気でいてくださいね☆